SEのためのSCM（サプライチェーンマネジメント）基礎・実践講座【会場・オンライン同時開催】（4124222）

需要の多様化や供給網のグローバル化が伸展するなか、企業経営にとってSCM（サプライチェーンマネジメント）の重要性・必要性は益々高まっています。戦略的なサプライチェーンを構築・運用するためには、まず、SCM・ロジスティクス・物流部門や、生産・販売など他部門のメンバーが、SCMの基本を正しく理解して実践することが必要になります。SCMの基本的な考え方からSCM改革の進め方まで、事例を交えて幅広く学習します。

開催日時	2024年10月25日(金) 10:00-17:00
カテゴリー	IS導入（構築）・IS保守 専門スキル
講師	長谷川雅行 氏 （（一社）日本物流資格士会顧問　流通経済大学客員講師　港湾カレッジ横浜校非常勤講師 ） 日本通運株式会社、株式会社日通総合研究所常務取締役。同社顧問を経て現在に至る。
参加費	ＪＵＡＳ会員/ITC：35,200円 一般：45,100円（１名様あたり　消費税込み、テキスト込み） 【受講権利枚数1枚】
会場	一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会（NBF東銀座スクエア２F）
対象	SCM・ロジスティクス・物流業務システムの開発、保守、運用に携わる方 初級
開催形式	講義
定員	25名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。（2時間1ポイント）
ITCA認定時間	6

主な内容

■受講形態
【選べる受講形態】
A. 会場にてご参加
B. オンラインにてご参加：【セミナーのオンライン受講について 】
■テキスト
A. 会場にてご参加：当日配布
B. オンラインにてご参加：開催７日前を目途に発送（お申込時に送付先の入力をお願いします）
※開催７日前から開催前日までにお申込の場合、テキストの送付は開催後になることがあります。ご了承ください。
■開催日までの課題事項
特になし

需要の多様化や供給網のグローバル化が伸展するなか、企業経営にとってSCM（サプライチェーンマネジメント）の重要性・必要性は益々高まっています。
戦略的なサプライチェーンを構築・運用するためには、まず、SCM・ロジスティクス・物流部門や、生産・販売など他部門のメンバーが、SCMの基本を正しく理解して実践することが必要になります。
本セミナーでは、SCMの基本的な考え方からSCM改革の進め方まで、事例を交えて幅広く学習します。

◆主な内容

1　SCMの発達
・物流・ロジスティクス、そしてSCMへ
・SCMのルーツは「かんばん方式」
・制約理論とSCM
・SCM経営の重要性
・SCMにおける在庫管理

2　SCMの基本

・SCMの基本的なしくみは-「設計開発から販売までの一連の情報を共有」
・キャッシュフローの概念とスループット
・ウィン・ウィンの関係づくりと全体最適の実現
・サプライチェーンのボトルネックを解消
・SCMを推進するDX重視

３　SCMの導入で企業が変わる
・「つくりすぎのムダ」を解消
・消費者起点の商品開発を推進
・パートナー企業との情報共有
・コアコンピタンスの強化とアウトソーシングの活用
・ビジネスチャンスの拡大とグローバル化への対応

４　いろいろな業界のSCM
・製造業「水平分業から垂直統合」へ
・流通業界「製販一体型の商品開発」
・物流業界「生産と販売をつなぐ全体最適のロジスティクス機能」
・食品サプライチェーンの進化「温度管理・衛生管理の情報共有を徹底」
・Ｅコマース起点のサプライチェーン再構築
・日用品業界「競争は店頭で、物流は共同で」
・アパレル業界　「RFIDの活用でDX化」

５　これからのSCM
・SDGsとグリーンサプライチェーン「持続可能な目標を実現」
・廃棄物処理とリバースチェーン
・工場・物流センター・店舗の無人化を促進するロボット・IoT、AI
・サプライチェーン・リスクマネジメントの実践とBCP対策
・SCMの高度化に対応できる人材の育成